

## 2018年度 第2回OP協会理事会議事録

日本OP第5-18-04号

日時 : 平成29年12月09日(土) 10:30~17:00

場所 : フォーシーズ様本社会議室

参加者 : 矢野副会長、濱本理事長、高山理事、服部理事、中村理事、山田理事、青野理事、  
花田理事、岡田理事、須河内理事、西村理事、秋山監事、檜皮監事、(順不同)

欠席者 : 占部副会長、荒川理事、松尾理事、

議事録作成 : 青野理事、確認者 : 須河内理事(東日本)、岡田理事(西日本)

### 【挨拶】

議事に先立ち、濱本理事長から開会挨拶があり、上記議事録作成者と確認者を決定し、濱本理事長を議長として審議を実施した。

### 審議事項

#### 議題1 2017年全日本大会の反省点について

#### スポンサー関係について

#### 反省点

協賛会社様の表記について一部不適切があった(NOR、ホームページ、パンフレット)

#### 原因

JODA最終確認漏れ、大会側との連絡不足

#### 対策

スポンサー担当理事の任命(2018年は服部理事)

JODAオフィシャルスポンサーと、運営委託先が集めたローカルスポンサーの扱いを明確化する(印刷物、HP)

運営委託先へ連絡、依頼すべき内容と、JODA側で対応、確認すべき内容の明文化  
オフィシャルスポンサーと被る企業等のスポンサーは避ける事(オフィシャルスポンサーに確認要)、物品提供と資金提供のスポンサーとの取り扱いを区別する事、パンフレット作成費用、広告収入の取扱い明確化など。

## レース運営について

### 反省点

レース中の運営判断決定について、主催者 J O D A と委託先レース委員会で意見の相違があった場合の決定方法に関して、事前確認が不十分だった。

### 原因

主催者 J O D A の役割、権限、責任など、詳細を整理して委託先に伝えられてなかった。

### 対策

現行の J O D A、委託先分担表の見直し。

J O D A 役員の海上運営参加の強化（費用負担の見直しを含む）

## 議題 2 総務委員会

### (1) 新体制図の確認

協議のうね一部役割変更有りにて承認された。後日協会HPへ公開する。

### (2) 年間業務スケジュールの確認

各委員会の年間業務スケジュール確認を行った。各委員長は変更ある場合、周知連絡することとした。

### (3) 選考会関係

運営委託先と覚書を調印することとした。

### (4) 全日本関係

総会の議事録を最終確認し承認された。後日協会HPに公開する。

### (5) ポイントランキングについて

2017年の最終ランクが確定した。ランキング計算方法についての試行は終了。東西水域の公平性や選手実力が概ね反映されているものと判断。上位者への特典について今までも様々な意見がだされたが、次回総会までに決定し総会決議に諮ることとした。

### 議題3 レース委員会

#### (1) 年間レース事業計画を確認

全て決定とした

#### (2) レース委員会業務分担

各業務分担を再確認した

#### (3) 2019年度 JODA ナショナルチーム選考会の公募実施

担当者：松尾理事とした

#### (4) 第49回全日本選手権の反省点

##### 1) ホストチームと JODA との分担が不明確な部分があった

トロフィー手配、JODA メンバーの宿泊手配、協賛への対応等  
早い時期に分担表をまとめておく必要がある

##### 2) 大会協賛、JODA 協賛が整合出来ていない

JODA として協賛窓口をつくり、そこからのコントロールが必要と感じた  
今後オフィシャルスポンサーとして JODA の HP へバナーを乗せる事とする  
フォーシーズ様  
ピザーラ様  
エニタイムフィットネス様

##### 3) レース運営費が上がり、ホストクラブの負担が増え、見直す必要がある

パンフレット作製の大会側の負担を解消すべく  
負担の一部を JODA 側から出す事とした  
全日程参加の理事は大会側負担とし、全日程参加できない理事は JODA 負担とする

##### 4) レース海面での救助要請が海面全体へ伝わらなかった

レスキューマニュアルを見直して、協会 HP へ掲載し  
各地方レースにも活用してもらうようにする  
JODA 主催レースについては、レンタルの無線機を各支援艇にも持ってもらえるようにする  
支援艇の出艇料金に含める事とする  
レスキュー体制の指示旗は数字旗の8とする事とした

5) 参加者数140艇⇒70艇を再考したい

現状維持とする

6) 閉会式の表彰順位など式典全体の進行について

JODA側と大会運営側とで

必ず事前に打ち合わせをするように確認した

7) 大会パンフレットの配布について

オペレーションスタッフについては来年度から配布は無しとする

各クラブには、一部つつ配布

協会HPにPDFファイルをUPする事とする

#### 議題4 強化海外派遣委員会

##### ワールドコーチ派遣費用負担について

従来よりのチーム強化費に変えて  
コーチ派遣費用を補助する事とした  
(※総会の予算書に明記済)

1. アジアセーリングチャンピオンシップへの選考、派遣について

場所：インドネシア（ジャカルタ）

期間：2018年6月24～30日

対象：日本からはオリンピック全種目派遣

OP級 男子1名、女子1名

選考方法：2次選考会にて男女最上位を選出

NORに記載の必要有り

2. NT合宿の概要

場所：蒲郡

期間：2018年4月28日～30日

3. IODA ワールドの概要

場所：キプロス

期間：2018年8月27日～9月6日

4. JSAF オリ強との連携

JSAF オリ強ジュニアユース担当の宮野氏と以下を協議した

1) 上記1項～3項までについてJSAFで費用負担検討する

(2017年度は3項の補助のみ)

費用の詳細、内容については今後協議する

今後積極的にJODAとの連携を強めたいとの意向

これまでにないアイデアで強化普及を発展させたいとの事

2) ジュニア、ユース選手を対象としたステップアップ、

チャレンジ企画を検討したいとの事

## 議題5 普及育成委員会

### 1) 加盟クラブへのコーチ派遣

強化と普及の両面から、加盟クラブへ派遣出来るコーチ（OP 卒業生を含む）の候補選定（打診等）を進めて、各加盟クラブへの提案など具体化へ向けて進める

### 2) JSAF オリ強との連携

JSAF と協力して選手の強化をしていく方法を検討していく事とした

### 3) JFAS との連携による普及啓蒙活動

ボートショウで配布する資料の中に、各クラブの入会受付や体験会案内を掲載予定協力ホームページから情報募集の案内が告知出来るようにしていく

## 次回理事会

第3回理事会を2018年2月17日

第4回理事会を2018年6月16日と決定した

以 上